

税金のおかげ

筑西市立下館中学校

三年 飯島 麻加

「税金の話」そう聞くだけで難しい印象を受けてしまう人も多いと思います。私もその一人でした。税金について、本当に分からないことだらけでしたが、調べると、税金がないと普段の生活がままならないことを知りました。

初めに私が税金について深く考えられる機会となったのは、小学六年生のときに行われた租税教室です。税金がなかったらどんな生活になるのか、という内容のビデオを見せていただきました。税金のない世界はゴミが散乱し、公共施設が壊れていて、私はとても衝撃を受けたことを覚えています。租税教室を行って下さった先生のおかげで、私の税金に対する考えが変わりました。国のため、困っている人のためにお金を払っていて、私も国に少しは貢献できているのかなと考えると、とても嬉しい気持ちになりました。

私は、学校が大好きです。クラスの仲間と協力したり、友達と勉強を教え合ったりすることが、私の楽しみでもあります。当たり前に通っている学校も税金でできたということにとっても驚きました。学校全体、私が授業を受けるための教科書、机やいすまでもが税金です。このことを考えると消費税以外にもたくさん税を払ってい

る大人の人たちには、本当に感謝しなければいけないと改めて思いました。私も家に帰ったら、父や母などに感謝しようと思います。また、私たちも五年後には、二十歳です。成人して大人になったら両親のように税金を払って生活することになります。もっと多くの知識をつけてから大人になれるよう、勉強しようと思います。

今年、世界中でウイルスと戦う年です。毎日多くの感染者が出ています。たくさんの方が亡くなりました。そんな中、この苦しい状況におかれた人たちを税金は助けています。医療従事者の方々の助けにもなっていると思います。税金を払うことによって広がる助け合いの輪を私は本当に素敵だと思います。

私は税金によって学校に通え、病院に行き、きれいな街で生活できます。このことに感謝をして、これからも生活していきたいです。